

第 5 学年 国語科学習指導案

児童 5年1組 男 17名 女 12名 計 29名
指導者 野崎 祐司

相手の立場や意図を尊重し、認識を深めながら聞き合う力を育てる学習活動の工夫

1 単元名 聞き合って考えを深めよう（学習材名 「言葉づかいを見直そう」 開発教材）

2 単元について

(1) 児童の実態

児童はこれまでに、話の中心に気を付けて聞くことや、共通点や相違点に気を付けて聞き合うことを学習してきた。更に、インタビューの学習を通し、目的に沿って効果的に質問を重ねたり感想を話したりしながら対話をはこぶ力や、自分の考えを入れてまとめたりする力も育ってきている。

しかしこれは、事前にインタビューの計画があった上で発揮された力であり、普段の対話では、目的から逸れてしまうことや、あっさりした受け答えで終わってしまうことが見られる。また、互いの考えを十分に聞き合うことで認識を深めたり、問題解決に迫っていったりする話し合いの経験や力は、十分とはいえない。

このような児童に、相手の立場や意図を尊重し、認識を深めながら聞き合う力を身に付けさせたい。

(2) 主たる指導事項と学習材

本単元の主たる指導事項は、「互いの立場や意図をはっきりさせながら、話し合うこと」である。この力を育てるために本単元では、「立場や意図を明らかにし、認識を深めながら聞き合うこと」が指導の中心となる。

このような力を育てていくために、「言葉づかいを見直そう」を学習材として用いる。言葉づかいは、周りの人と良好な関係を築く上でとても大切なものである。それは、言葉を介してお互いの気持ちのやりとりが行われるからであり、それぞれによく使う言葉は、その使い手自身の内面を表しているものだからである。しかし、日常生活の会話では、自分の気持ちを表すために使った言葉や話し方が、相手はどう受け取るのかまで意識せずに使っている。そう考えると、自分たちの言語生活を見直すことは、相手との関わり方や、自分自身の内面を見直すことでもある。

本単元では、使うことが適切かどうか迷う言葉やその使い方を集め、使うことが相応しいかどうかについて考えを聞き合う。この活動を通して、自分自身の言葉に対する興味や関心を高め、言葉の使い方について考えるとともに、互いの立場や意図をはっきりさせながら聞き合う力を高めることができるであろう。それは、言葉に対する見識を高め、互いの関係を深めることにもなる。言葉づかいを大切にしていけることが温かな心を育み、よりよい自分や学級の礎となると考える。

(3) 指導に当たって

指導に当たっては、次のように進めたい。

みとおす段階では、何気なく使っている言葉づかいに目を向けさせ、一人一人が毎日の生活の中で気付いた言葉づかいについてカードに継続して収集する活動を位置付け、学習への意欲を高めるようにする。その後、児童の感想や言葉について書かれたコラムをもとにしながら、言葉やその使い方がもつ重みを確かめ、学習の目的と見通しをもたせるようにする。そして、一人一人が収集してきた言葉づかいの事例を班や全体で分類・整理し、学習計画を立てるようにする。

ふかめる段階では、取り上げた言葉について対話で互いの考えを聞き合い、言葉づかいの認識を深めるようにする。それには、相手の立場や意図を知るために質問することや、相手の考えに対して自分の感想を伝えたりすることを繰り返しながら、対話を進めていくことが必要である。そのため、モデル対話やロールプレイを通し、目的に沿った対話の在り方を理解させるようにする。振り返りの場面では、対話を通して再構築された考えを確かめたり、聞き合っただけという達成感を味わわせたりしたい。

まとめる段階では、自分の考えを意見文としてまとめ、紹介し合うようにする。また、この学習を通して身に付いた力を確かめ、対話の貯金としたい。

3 単元の目標

- (1) 国語への関心・意欲・態度
 - ・言葉づかいに関心を持ち、相手の意見を尊重しながら聞こうとする。
- (2) 話すこと・聞くこと
 - ・話題について、互いの立場や意図をはっきりさせながら聞き合い、認識を深めることができる。
- (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 - ・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
①言葉づかいに関心を持ち、相手の意見を尊重しながら聞き合おうとしている。	①相手の立場や意図を知るために質問したり、相手の考えに感想を話したりして、言葉づかいへの認識を深めている。	①語感、言葉の使い方に対する感覚などについて意識している。

5 学習指導計画（6時間扱い）

【関連する前の単元】

伝え合って考えよう（「人」と「もの」との付き合い方）

- 相手の考えと自分の考えとの共通点や違いに気を付けて聞き、考えを深めている。

【スピーチ学習】「新聞記事から」

- 話の中心に気を付けて聞き、感想をもつ。
- 詳しく知りたいことを質問する。
- 自分の考えが分かるように筋道を立てて話す。

段階	学習課題（内容）	学習活動と時間	評価規準（方法）
みとおす	○自分達の言葉の使い方を振り返るために、言語採集をしよう。	・言葉づかいについて関心を持ち、言葉を集める。 (0.5)	アー①言葉づかいに関心を持ち、学習への意欲を示している。 (発言・ノート)
	○分類・整理しながら学習計画を立てよう。	・学習の目的が分かり、学習計画を立てる。 (1.5)	
ふかめる	○話題について、自分の考えをもとう。	・問題とする言葉づかいを二つの観点でとらえ、自分の立場と根拠を考える。 (0.5)	アー①言葉に関心を持ち、相手の考えに反応しながら、進んで聞こうとしている。 (発言・ノート)
	○考えをはっきりさせていく対話の進め方をつかもう。	・対話のモデルテープや台本をもとに、互いの考えをはっきりさせていく対話の大体を知る。 (1)	
	○言葉を使うとき、自分はどのように関わっていったらよいのだろう。	・二つの観点で見たとき、その位置を考える対話を行う。 ・問題とする言葉づかいについて、どう関わっていか対話し、自分の考えをもつ。 (1) 本時	
まとめ	○言葉づかいについて見直し、自分の考えをまとめよう。	・言葉の使い方について、自分の考えをまとめる。 (1)	イー①言葉と自分の関わり方を考え、言葉づかいを見直している。 (ノート)
	○対話の貯金をしよう。	・相手の考えを明確にすることは、自分の考えも明確になること、を振り返り、今後も活用していくことを確かめる。 (0.5)	

「生かす単元」「学習したことを生かして」

- ・思いや考えを明確にし、話の組み立てを工夫しながらスピーチをする。

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・言葉づかいに関心を持ち、相手の意見を尊重ながら聞こうとする。[対話の情意的要素]
- ・相手の立場や意図を知るために質問したり、話に応じて感想を話したりして、言葉づかいの認識を深めることができる。

(2) 展開

段階	学習活動 (○主 発 問)	時間 (分)	◇ 学 習 内 容	教 師 の 関 わ り ☆ 評 価 (方法)
みとおす	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話題 取り上げた言葉の使い方について、自分の考えを深めよう。</p> </div> <p>2 対話の柱、対話のめあてを確認する。 柱1：言葉の位置（必要か、適切か）を聞き合おう。 柱2：その言葉は使ってよいのだろうか。</p>	8	<p>◇対話のめあてと進め方を確かめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿って進める。 ・相手の考えを詳しく知するために質問し、しっかり聞く。 ・話に応じて反応したり感想を話したりする。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が問題とした言葉の使い方について対話で考えを聞き合い、言葉の使い手として、言葉との関わり方を見直すことを確かめる。
ふかめる	<p>3 聞き合って考える。 ○対話で、言葉づかいについて考えましょう。</p> <p>(1) 柱1について対話する。</p> <p>(2) 柱2について対話する。</p> <p>(3) 話題について自分の考えをまとめる。</p>	25	<p>◇立場や意図の相違点や共通点に気を付けて聞くこと。</p> <p>◇話の内容に応じて感想を話すこと。考えを詳しく知するために質問すること。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・はい、なるほど、～ですね(繰り返し返し)、つまり～、等 →反応 ・～を教えてください、どんな～ですか、例えば～、等 →具体を引き出す ・～のときはどんなことを思ったり考えたりしましたか、～と思うのですがAさんはどうですか、等 →気持ちや考えを引き出す </div> <p>◇対話を振り返り、学習シートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対話の進め方を掲示し、実際に生かせるようにする。 ☆言葉に関心を持ち、相手の考えに反応しながら、進んで聞こうとしているか。(観察) ☆相手の話の内容に応じて感想を話したり、考えや根拠を詳しく知するために質問したりしているか。(発言・観察・学習シート) 【努力を要する児童への手立て】 「例えば～」という質問で、相手の具体的な経験を聞き出し、自分の経験と比べて考えるように助言する。 ・個別の支援に生かすため柱1の対話後に情意面や技能を自己評価する。 ☆言葉づかいの認識を深めることができたか。(学習シート)
まとめる	<p>4 全体で聞き合う。 (1) 話題について考えたことを発表する。 (2) 本時の学習活動をふり返る。</p>	12	<p>◇話題に対する考えを全体で聞き合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のもつ重みや役割を確かめ、次時の活動につながるようにする。